

## 児童心理司（１～２年目）

ねらい	児童心理司（１～２年目職員）として求められる役割を理解すると共に、基礎的な知識・スキルを身につけ、面接・心理検査等を通じた子どもと保護者の状態の的確な把握、アセスメント及び他職種・他機関との連携によるケースへの対応力を習得する。			
申込条件	児童心理司１～２年目の職員、児童福祉司、一時保護所職員、その他子ども家庭福祉行政に携わる職員 【需要数７５名】			
日 数	２日間			
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援関係の構築、解決思考による面接方法の基礎</li> <li>○ 面接場面等における子どもと保護者の行動観察</li> <li>○ 虐待やマルトリートメントが子どもに与える影響</li> <li>○ 心理検査結果による子どものアセスメント（基礎編）</li> <li>○ 家族のアセスメント</li> <li>○ 機関協働によるカンファレンスと心理職の役割</li> <li>○ 関係機関へのコンサルテーション</li> <li>○ 心理診断の反映及び申立書の添付書類への心理所見の書き方</li> <li>○ 子どもの治療的ケア（基礎編）</li> <li>○ 家族再統合を勧める上での児童心理司の役割</li> <li>○ 施設に入所している児童の問題行動への対応 など</li> </ul>			
日 程 研修 I D 通知期限		日 程	研修 I D	通知期限
	第 1 回	10 月下旬	2016001	9 月下旬
	第 2 回	11 月上旬	2016002	